

刺田比古神社 岡の宮 祭事表略

大 祭	三月十七日	祈 年 祭 (春 祭)	七月十七日	夏 祭	五月五日	子 供 の 日 祭
	十月十七日	例 大 祭 (秋 祭)	十一月三日	文 化 祭	六月十七日	弁 財 天 祭
	十一月二十三 日	神 嘗 祭 (感 謝 祭)	十二月十三日	火 焚 祭 (冬 祭)	六月三十日	大 祓 式
				天 皇 誕 生 日 祭	九月秋分の日	御 靈 祭
中 祭	一月一日	元 旦 祭 氏子安全祈願祭	一月成人の日	成 人 祭	十二月三十日	大 祓 式
	一月三日	元 始 祭	二月節分の日	節 分 祭	毎月一日	月 首 祭
	四月二十九日	昭 和 の 日 祭	二月旧初午の日	初 午 祭	毎月十七日	月 次 祭
			三月春分の日	御 霊 祭		
			五月三日	憲 法 記 念 祭		
					その他諸祈願いたします	
					雑 祭	
					地鎮祭 竣工祭 結婚式 心願	
					交通安全 初宮 七五三 安産	
					厄除け 家内安全 家業繁栄	
					学業成就 命名	

刺田比古神社社務所

〒640-8139 和歌山市片岡町2丁目9
 電 話 (073)422-6576 FAX (073)422-0814
 E-mail: sasutahiko@gmail.com
 HP: <http://okanomiya.com/>



延和 吉
 喜歌 宗
 式山 公
 城拾
 内鎮 い
 社護 親

刺田比古神社
 岡の宮
 御由緒略記

延喜式内社
和歌山城鎮護
吉宗公拾い親

刺田比古神社

岡の宮

御由緒略記

鎮座地

和歌山市片岡町二丁目九

祭神

道臣命

道臣命
おものさでひこのみこと
大伴佐氏比古命

当神社は延喜式神名帳、紀伊国神名帳等に記載された古社で、岡（現在の和歌山市広瀬、大新、番丁、吹上、芦原、新南地区）の産土神として岡の宮の名で知られている有名な神社である。神武御東征のさいに御活躍した道臣命（大伴氏の祖先神）、百濟救済の御武功で知られる大伴佐氏比古命をお祀りしている。古来よりこの地は人が住み、一説には聖武天皇岡の東離宮跡とも伝えられ、境内には岡の里古墳がある。道臣命は岡の里の出身とされ、佐氏比古命（狭手彦命）より世々岡の里を采邑し、佐氏比古命二十世の裔大伴武持が岡の里に住むに及び、大伴氏の発祥であるこの地に祖神、祖霊を祭祀した。里人はこの地を開始経営し給うた神として、その神徳を仰ぎ産土神として国主ノ神、大國主神と尊称し崇敬した。大伴武持二十八世の孫岡本信濃守武秀が始めて岡山（現和歌山市）に城を築くと、神田若干を寄付するなど代々城の氏神として厚く崇敬した。里人の崇敬も厚く社殿等頗る壯觀を極めたが、南北朝の騒乱など度重なる兵乱に遭い、古文書や宝物を悉く失い、社殿も荒廢するに至った。嘉吉年中に氏子等が再興し、国主神社と呼び崇敬した。天正年中、豊臣秀吉が和歌山城を築くにあたり本城鎮護の神として尊び、大伴の後裔岡本左介を社司とした。豊臣秀長は城代桑山修理亮重晴に社殿修造を命じ、岡本左馬助家長を神官とした。文禄三年、神社を本来の鎮座地たる岡の里（現在の御鎮座地）に移した。その後浅野幸長が本国を領するも、本城鎮護の神として変わらず尊崇した。元和年中、徳川南龍（頼宣）公が紀州入城すると、城の守護神たるこの神社を崇敬し、社殿を修築し社宝を奉獻した。更に領地を寄進し、宮司を別当職として松生院に居住させた。二代城主清溪（光貞）公以後は産土神として崇敬し寛永年中より延宝年中、大小社殿を造営し、松生院別当職を解き唯一神社となし、新たに神官邸を社の傍に寄進して奉仕を嚴にした。其の後名草郡岡村にて社領を寄付され、神官岡本長諱を従五位下周防守に叙任された。

殊に八代將軍有徳（吉宗）公御誕生の時、神主周防守長諱が仮親となったことから、吉宗公より特別に崇敬をうけた。吉宗公は將軍就任に際し開運出世の神と敬神され、享保年中、名草郡田尻村（現和歌山市田尻）に二百石の朱印地を寄付し、神社境内の殺生を禁じ、黄金粧飾の太刀壺振（国宝）、神馬一頭を献じ、永く国家安泰の祈願社とした。これにより年に壺万度の国家安泰の祓を命ぜられ、神主岡本長刻より代々三年に一度上東して將軍に拝謁し、代替、継目等の際は江戸にて拝謁する例となった。よって氏子の崇敬益々厚く神徳弥栄にて、明治六年四月に県社に列せられた。昭和二十年七月九日の戦災に遭い、社殿、宝物、古記録すべて焼失したが、御神霊は安泰であった。その後氏子等の敬神により現在の復興となり、崇信日々に広く神威赫々である。

宮司 岡本 高比古

本社

道臣命 大伴氏祖先神

春日社

建甕槌命
伊波比主命
天兒屋根神
武運長久 五穀豊穰 国家守護
道德守護

大伴佐氏比古命 道臣命十世孫

天満社

菅原道真公

学問の神 学業成就

武神 武運長久 祭祀守護 国家守護 出世開運
交通安全 家業繁栄 厄除

祓戸社

瀬織津姫命
速秋津姫命
伊吹戸主命
速佐須良姫命
日々の穢れを祓う神々
厄除

摂社

八幡社 応神天皇

国家鎮護 厄除 安産
（寛永年中 宮ノ壇より遷座）

楠龍祭達社

楠龍祭達大神（御神木）
商売繁盛の神 家業繁栄

氷川社 須佐之男命

五穀豊穰 交通安全 縁結び
開運招福 安産 病氣平癒
方除

大黒社

大己貴命（大國主命）
縁結び 厄除 開運 五穀豊穰

末社

小林稻荷社 宇賀魂命

穀物神 商売繁盛 産業守護

金比羅社

大物主命

稻荷社 宇賀魂命

穀物神 商売繁盛 産業守護

弁財天社 市杵島姫命

航海安全 国家守護 諸芸上達
（近世 天壇山より遷座）

神馬社

有徳公（徳川吉宗）
御愛馬
開運厄除 出世開運 心願